

令和4年度（令和5年5月14日）

# 子ども会体験活動作文



浜松市子ども会連合会

## 令和4度 浜松市子ども会連合会 体験作文

(敬称略)

	子ども会名	学年	
①	浜北区八幡団地子ども会	6年	題 安全マップ作り
			山本 春龍 (やまもと はる)
②	中区助信町子ども会	6年	題 この夏休みの思い出
			鈴木 佑菜 (すずき ゆうな)
③	中区八幡町子ども会	2年	題 クリスマス会のジェルキャンドル作り
			広瀬 彩乃 (ひろせ あやの)
④	浜北区貴布祢4区子ども会	6年	題 さつまいものしゅうかく
			野末 明星 (のずえ あかり)
⑤	南区高塚南子ども会	6年	題 6年間の思いをぶつけて
			伊藤 有希 (いとう ゆうき)
⑥	北区根洗町子ども会	1年	題 そばうちたいけん
			青柳 千波 (あおやぎ ちなみ)
⑦	南区寺脇町子ども会	5年	題 初めての田植え
			神谷 優愛 (かみや ゆい)
⑧	南区増楽町子ども会	5年	題 トリイソース見学
			河野 結衣 (こうの ゆい)
⑨	中区西伊場東子ども会	2年	題 ハロウィンでおかしをもらったよ
			翁長 耀太 (おなが ようた)
⑩	北区根洗町子ども会	5年	題 そば打ち体験
			青柳 煌大 (あおやぎ こうだい)
⑪	浜北区西美園下子ども会	2年	題 楽しかったマジックショー
			柏原 峻 (かしはら しゅん)
⑫	浜北区寺島東子ども会	6年	題 資源回収に参加して
			樋口 奈央 (ひぐち なお)
⑬	南区寺脇町子ども会	4年	題 初めての田植え体験
			足立 真埜 (あだち まひろ)
⑭	南区寺脇町子ども会	6年	題 大変だった田植え体験
			足立 桜穂 (あだち ひまり)
⑮	中区砂山町子ども会	5年	題 味噌作り体験をした
			水野 翔太 (みずの しょうた)

## ① 安全マップ作り

八幡団地子ども会 6年 山本春龍

子供会の活動で地域の安心安全マップ作りをすることになった。コロナで子供会の活動があまりなくなって、安全マップ作りもなくなるのかと思っていました。

九月の終わり位に大雨が降って、地域の道路に水があふれて、車が水ぼつしたり、畑の野菜がだめになったりして大変でした。

地域の大人の人や、親といっしょに、あふれた川の様子などを遠くから見ながら、安全マップを子供会のみんなど話し合って作ろうと思いました。

公民館に集まって、地図に団地の中にある危ない所に印をしました。消化器を設置してある所も印をしました。その後、団地内を歩いて回って、実さいに危ない所と、消化器の数や様子を見て、公園にある防災倉庫の中も確認しました。

防災倉庫の中にはかんぱんや非常食もたくさんあって、

これなら災害があっても大丈夫だと思いました。でも説明してくれた地域の人は、「これは、三日くらいしかもちません。」といわれて、とても足りないんだと思いました。他にもいろいろな物が入っていました。消火活動に使うポンプもありましたが、重くて動かせませんでした。

その後、防火水そうという道路に水そうがある所もチェックしました。

公民館に帰って、みんなで意見を出し合って、安全マップを作っていました。思っていたよりも、団地にはいろんな設びがあって、消化器も十個ぐらい設置されていました。通学と中の危ない道にも、いつもスクールガードの人たちがいてくれるのを思い出しました。低学年の子たちもいろんな意見を出してくれました。コロナのせいで、全員が集まってマップ作りが起きなかったですが、大人の人やお年寄りの人たちもいっしょにマッ

プ作りができたなら、もっといろいろな意見が出ると思いますが。防災訓練の時も、もう少ししっかりやりようと思いましたが。

十二月には子供会で発表して、参加できなかった友達とまた意見を聞こうと思います。新しく入学してくる子にも見せてあげたいです。



## ② この夏休みの思い出

助信町子ども会 6年 鈴木 佑菜

「えっ曳馬小学校のグラウンドで、熱気球に乗れるって、本当。」

お父さんが言った言葉に、私はとっさに聞き返してしまいました。子ども会のイベントで、自分が通っている小学校で、熱気球に乗れるというのです。一度、少し遠い所で熱気球に乗ったことはあるけど、いつも見なれた街を上から見下ろすことは、はじめてでわくわくがとまりませんでした。

雨で一日ずれ、待ちに待った当日がきました。その日は、雅俗全員が、とくべつ早起きました。学校では、いつもの学校なのに、朝日が登っていなくて、暗く、なんだかい和感を感じます。その日は、風が強く、気球の会社の人が、心配そうに風の予報を調べていました。風が弱まらなかつたら、延期もなく乗る事も出来ないそうです。絶対に乗りたいと強く思い、空を見上げました。その空には、朝日が少し登りかけていました。ぺちゃんこの気球がグラウンドいっぱいに広がりました。その気球は、登りかけの朝日にてらされて、とても色あざやかに

見えます。大きなせん風機が回り、気球がふくらみはじめました。ふと見ると、あつという間に、ぺちゃんこだった気球が、私達を見下ろすように、どっしりと立ちあがりました。その時、気球の会社の人が言いました。

「今です。乗りましょう。」

風が弱いうちに、急いで順番に乗りました。もうすぐ私の番になりました。心の中でドキドキした気持ちと、ワクワクした気持ちがかさなりました。あつという間に私の番がきました。ドキドキしながら熱気球のカゴに乗ると、いつの間にか、地上からはなれて、みんながとても小さく見える高さにいました。いつもの私が住んでいる街が遠くまで見えます。私は、さっきまで不安だった気持ちが一気に晴れました。さらに、近くから通った電車から、車しようさんが手をふってくれました。私は、とてもうれしくて、とてもいん象に残っています。そこから、あつという間に下に降りりましたが、忘れられない夏

休みの思い出となりました。



### ③ クリスマス会のジェルキャンドル作り

八幡町子ども会 2年 広瀬 彩乃

十二月十一日の日曜日に、八まん町こうかいどうで、子ども会のクリスマス会が行われました。

ジェルキャンドルを作るのはとても楽しみです。いわた市のつくるっぺいのかかりの人がこうかいどうに来てくれました。

まずはガラスで作られたクリスマス会の小さいかざりを二つえらびます。どれもキラキラしていて、かわいくて、まよいましたが、サンタさんとトナカイにしました。そ

してガラスのコップにどのようにおくか、紙の上で考えました。

つぎに色砂をガラスのコップにしきつめます。クリスマスなので赤とみどり、白をえらびました。むずかしかったのは、砂の色がまざらないようにしくことです。砂をたいらにしようとガラスをかたむけると砂がまじってしまうので、しんちょうにスプーンでしきます。友だちのお母さんに「上手にできたね。」といわれてうれしかったです。

そしてガラスのかざりを砂の上においていきます。トナカイの足が砂にうまってしまいました。うめないと、トナカイの体がかたむくのでしかたがありません。つもった雪にトナカイがはまっちゃったとそうぞうしました。かんせいしたガラスのコップをかかりの人にわたします。かかりの人はあたたためた Jewel をコップにながし入れます。

ひえるのをまつ間に、くじでけいひんを当てます。ひたくじでバウムクーヘンと雪だるまのまがねが当たりました。

コロナで友だちとなかなかあそぶことができないけど、クリスマス会で友だちに会えて、ちょっと話せてよかったです。ひえた Jewel キャンドルはうちのテーブルにござってあります。ほこりが入らないように、おねいちゃんにラップをしてくれました。かい中でんとうで光をよこから当てて、キラキラを楽しみました。また作ってみたいですよ。



④ さつまいものしゅうかく

私の住む浜松市貴布祢四区子供会では、毎年さつまいもを育てています。まず、春に苗を植えています。苗は、百個以上の苗を植えています。私は元々虫がきらいなので、最初は少しゆううつな気分になりました。それから、夏頃に定期的に草とりをします。少しめんどろだったけれど、一、二年生の分まで六年生だからがんばらなければ、と暑さにたえつつがんばることができました。ですが、何回か草とりしたり、野外での農作業をしたりすることで、慣れてきてそこまでめんどろくささや、けんお感を感じなくなりました。段々と単純な草を抜く作業が楽しいと感じられるようになり、農作業や子供会でのさつまいもを貞輝ということに対して、以前よりも前向きに取り組めるようになりました。収穫時は、農作業への印象が変わったのもありますが、単純にさつまいもを抜く作業がおもしろかったため、楽しんで最後の作業を行えました。今年のさつまいもは例年より一回りほど大

きかったので、ほりがいがありました。この作業が一番楽しかったし、これまでの活動の中で一番思い出に残りました。その後、家に持ち帰り、お母さんといっしょにさつまいもでモンブランを作りました。行程としては、皮をむいたさつまいもを細かく切り、レンジで加熱しやわらかくして、そのさつまいもをこして生クリームと混ぜて、タルトの上にしぼるのですが、こす作業がすごく大変でした。最初は、手作業でやっていたのですが、全然なめらかにならなかったので機械でやりました。でも、最終的に楽しく美味しく終わったのでいいかな、と思いました。来年は、家でさいばいして、調理してみたいと思います。





⑤ 6年間の思いをぶつけて

高塚南子ども会 6年 伊藤 有希

毎年みんなが楽しみにしているあざ別のドッジボール大会がありました。ぼくは、6年間参加したけど、まだ一度もゆう勝を経験していません。今年は、ぼくにוות、最後のドッジボール大会、ぜったいゆう勝してやると思いました。

試合は、一試合5分の総当たり戦でAコートとBコートの勝ったチーム同士が決勝戦をやるというものでした。一試合目のチームを全員当ててチームの流れは、よくなりました。二試合目、三試合目と順ちように勝ち進み、ゆう勝が決まる四試合目もみごと勝つことができました。そしてむかえた総合ゆう勝を決める試合、ぼくはきんちようで落ち着きませんでした。試合が始まり、すこしするとぼくは、内野と外野にはさまりピンチになりました。しかし、内野が投げた球がそれでピンチから抜け出すこ

とができてほっとしました。そして、試合が終わりまし  
た。そのしゅんかんきんちようがほぐれました。みごと  
にゆう勝することができました。

高学年が敵チームの子をあて、低学年の子は、がんば  
ってよけてくれました。みんなが協力してゆう勝するこ  
とができました。来年は、ぼくがボランティアとして支  
えるがわになります。ぼくたちがスムーズに試合行える  
ようにしてください。そんなボランティアになって、来  
年参加したいです。



⑥ そばうちたいけん

根洗町子ども会 一年 青柳 千波

わたしは、そばうちたいけんにいきました。はじめて



さわったそばこは、サラサラしていて、いろは、うすいちやいろでした。むずかしかったことは、三つありました。

一つめは、そばこと水でこねることです。こねるときに手にそばこと水でまぜたものがザラザラベトベト手にいっぱいきました。とれなくてこまっていたら、せんせいがしろいそばこをかけてくれて、手をこするとベトベトがとれました。こねるのは、かたかったけど、がんばってやりました。

二つめに、むずかしかったことは、のぼすことです。そばのばしぼつで、きじをさいごまでのぼすのがむずかしかったです。さいしょは、まるいかたちだったけど、だんだんほそながいまるになりました。さいごにすみっこがうすくなって、きれってしまいました。

三つめは、きることです。ほうちようで、いたをすこしうごかすのがむずかしかったです。かたくてきるのが

たいへんでした。

いえでおねいちゃんとおにいちゃんとおとうさんとおあさんに、おいしいといわれたのがうれしかったです。つきは、「こねることと、のぼすことと、きることをがんばりたいです。こねることは、ちからいっぱいこねたいです。のぼすことは、きれないようにがんばりたいです。きることを、さいごまでじぶんでがんばりたいです。」



## ⑦ 初めての田植え

寺脇町子ども会 5年 神谷 優愛

私は、寺脇町と三島町子供会の田植え体験にお母さんと参加しました。私のおじいさんは、白脇田んぼアート

の会に入っていて、毎年田んぼアートの田植えを手作業で行っています。トラやナオトラちゃんなど、すごい田んぼアートができるので、いつもワクワク楽しみにしています。私は、田んぼに稲を植えるのは初めてだし、もちろん田んぼの中に入るのが初めてです。たのしみながら会場につくと、たくさんの子供達が参加していました。田んぼアートのおじいさんが、田植えの説明をしてくれました。長いぼうに赤と黒のテープが巻き付けてありました。それを使ってまっすぐ稲を植えていきます。あとは、田んぼの中には、カエルやいろいろな種類の生き物がたくさんいるそうです。田んぼには、くつをはいて入れないので、くつ下を二枚重ねてはいて入りました。ひとりずつ中に入っていくのですが、みんなビクビクしながら入っていきます。そして、私の順番が来ました。お母さんと手をつなぎながら中に一歩足を入れると、片足がぐちよぐちよと入って、もう片足を入れると、もう転びそう

でした。そして歩こうとすると足がぬけなくて、バランスをくずして転んでしまいそうです。転んだら体がどろだらけなので、ドキドキしながら転ばないように、中に入りました。そして土をたいらにした所に、稲を3束から4束ずつ植えていきます。みんなそろって一歩後ろに下がります。これを繰り返して、なんとか転ばずに家を植える事ができました。道路から見ると、そろった稲がとてもきれいでした。ここから、元気良く育つように願いました。いつも食べているご飯は、ひとつぶ残さず食べたいと思いました。そして田んぼアートの稲で絵をかけるなんて、本当にすごい事だなと思いました。また、田植え体験をしたいと思いました。



## ⑧ トリイソース見学

増楽町子ども会 5年 河野 結衣

わたしは、子ども会の行事で、トリイソース工場見学へ行きました。学校給食で使っているソースと聞いていたのでとても興味を持ちました。

見学した中で三つ心に残りました。一つ目は機械を使う作業は少ないことです。手作業で野菜の皮をむいたり切ったりしていました。出来たソースにラベルをつけたり箱につめたりする作業も人の手で行っているそうです。

二つ目は、キャラメリゼを入れてソースの色になることです。このキャラメリゼは、プリンのカラメルのようなあまい物ではなく、とても苦い味だそうです。三つ目は、出来たソースのキャップを付ける作業は、約二時間で千五百本出来ることです。足でふむ便利な機械を使っているが時間がかかることにおどろきました。

長い時間をかけて手間ひまがかかっているので食べる

時は今回のことを思い出して、大切に食べたいと思いました。ソースに酢が入っているとは知らず、おどろきました。その酢もこの工場で作っていてもつとびっくりしました。ブルーベリーの酢を飲ませてもらいました。ブルーベリーの味がこくて、さっぱりしておいしかったです。お土産にもらった中のうソースとこう入したオムライスソースはどちらもおいしかったです。他にも色々な種類のソースや酢があるので、食べてみたいと思いました。



## ⑨ ハロウィンでおかしをもらったよ

西伊場東子ども会 2年 翁長 耀太

十一月三日の文化の日に子ども会でハロウィンをしま

した。公園にあつまり、6年生から子ども110番の家は、知らない人においかけられた時ににげこむところだよとせつ明がありました。みんなでれつになって歩いて子ども110番の家に行きました。

さい初についたおうちには、いつもあいさつをしている人のおうちでした。ぼくは子ども110番の家だと知っていました。ハロウィンのマスクをつけていて、いつものようにわらっていました。おかしをみんなにくばってくれました。みんなでおれいを言った後、つぎのおうちに行きました。

つぎのおうちでは、まじよのような黒いふくをきた人がまっています。またおかしをたくさんもらいました。そして、ハロウィンについてせつ明をしてくれました。おかしでだんだんふくろがいっぱいになってきました。と中で新しいふくろをもらう子もいたくらいです。その後、おうちを回っておかしをもらいました。どのおう

ちもニコニコとむかえてくれました。ぼくは、うれしくなりました。

いつもはあまりきにしていなかったけれど、子ども110番の家がたくさんありました。今までだったら、もし知らない人においかけられても家まではしつてにげていたと思います。でも今は、知らない人においかけられたら、おかしをくれたおうちに、にげこめると思いました。ハロウィンで子ども110番の家の人がどんな人か知れてよかったです。



#### ⑩ そば打ち体験

根洗町子ども会 5年 青柳 煌大

ぼくは、可美協働センターでそば打ち体験に参加しま

した。あるテレビ番組で、そば打ちをしている所が放送  
されていて、その放送を見て、そば打ちはかんたんなの  
ではないかと思ったので、そば打ち体験に参加すること  
にしました。そばうちをしていて難しかった事が三つあ  
ります。

一つ目は、そば粉と水を均等に混ぜる事です。混ぜて  
いると一部分だけに水が混ざってしまつて、粉の状態の  
物が残ってしまつて、うまく混ぜる事ができなかったけ  
れど、そば打ちの先生が教えてくれて最後は丸い形の生  
地にすることができました。

二つ目は、丸めた生地を均等にのばす事です。うすく  
生地をのばすために力をいれてのばしました。するとさ  
きっぽの方だけ生地が薄くなり、ちぎれてしまいそうに  
なりました。なので力かげんに気をつけて生地をのばす  
という事を意識して生地をのばしました。

三つ目は、小間板とそば切り包丁を使つてのばした生

地をすでに同じ細さに切る事です。切り方はそば生地  
を折リたたみ、小間板を上のにせて、そば切り包丁を少  
しかたむけて、少しずつ小間板をずらしながら切ります。  
一回目では、太かったり、細かったり、最後まで切れな  
い物がほとんどでした。二回目では、一回目の失敗を生  
かして、すべて同じ細さに切る事ができてうれしかった  
です。先生にも「今日で、一番つまい。」といわれてうれ  
しかったです。次に参加する時は、難しかった事が一人  
で出来るようにがんばりたいです。



## ⑪ 楽しかったマジックショー

西美園下子ども会 2年 柏原 峻

ぼくは、十月十六日にマジックショーを見ました。ぼくは、今までマジックショーを一回も見たことがなかったので、とても楽しみにまっています。

マジックショーをしてくれた人はミッキーよこ田さんです。ミッキーよこ田さんは、一時間たくさんマジックをしてくれました。とても楽しかったです。

その中で、二つにのこっているマジックが二つあります。一つ目は、かみのようなペラペラのハトにまほうのこなをかけたら本ものにかわったことです。まさか本ものハトが出てくるとは思っていなかったのでビックリしました。二つ目は、白いかみにまほうのこなをかけてまわすとおさつになりました。ぼくは、おこづかいをためて、ゲームを買いたいので、まほうのこながあればいいなと思いました。

また、ミッキーよこ田さんは、おしゃべりもとても上手でした。マジックショーの中で、ケンちゃんという人

形が出てきました。ミッキーよこ田さんが、同じことばをくり返してといういみで「おじさんについてきて」というとケンちゃんは「どこに？」と言っていました。同じことばだけど、二こいみがあることに気づきました。二人のかい話がおもしろかったです。

らい年もマジックショーを見たらいいなと思っています。今年は、後ろでマジックショーを見たので、らい年は、前でもっと楽しみたいです。もう一どマジックショーを見ることができたら、三年生になったぼくは、マジックのタネを見つけてみたいです。



## ⑫ 資源回収に参加して

寺島東子ども会 6年 樋口 奈央

私は、八月六日土曜日の朝、子ども会の資源回収に参加しました。お母さんといっしょに参加しました。同じ六年生の友達も参加しました。回収場所の公園で待っていると、知らないおじさんが車で、新聞紙やダンボールやいらぬ洋服などを持ってきてくれました。

「おはようございます。」

「ありがとうございます。」

と言って、荷物を下ろすのを手伝いました。大きな回収ボックスのコンテナに、新聞、雑誌、雑紙に分けて入れました。はじめは、ポイツと投げるように入れていたけど、たくさんになると入らないから、整頓して入れようということになったので、友達といっしょにコンテナに入って、きれいに並べて入れるようにしました。他の友達やお母さんたちが荷物を車から下ろしてわたしでく

れるので、整頓して入れていきました。

知っている近所のおじさんやおばさんも持ってきてくれました。いっぱいあって、持ってくるのが大変な家は、男の子や役員のお父さんたちが、取りに行ってくれました。コンテナの横には、ダンボールや布やアルミかんを置きました。

はじめは、あいさつするのがはずかかったけど、みんなのお母さんやお父さんたちのまねをしてみました。だんだん慣れてきて、友達もいっしょだったので、言えるようになりました。

「暑いのに、がんばってるね。」

と言ってくれる人もいました。とてもうれしかったです。

「ありがとうございます。」

と大きな声で言いました。一時間だけど、いっぱい集まりました。とても暑くて大変だったけど、がんばってよかったなと思いました。





### ⑬ 初めての田植え体験

寺脇町子ども会 4年 足立 真埜

私は、田植え体験をしました。田植え体験と聞いた時は、どんなかんじなのかワクワクしました。じっさい田んぼに入ってみると、ぐちよぐちよしていて、つめたくて、どろに足がとられてうまく立てませんでした。でも、天気がよかったので足がひえて気持ちよかったです。田んぼには、へんな虫や私の大きらいなカエルもいていやでした。でも、いねを植えるのは楽しかったです。いねの植え方を教えてくれたおじさんはやさしくてわかりやすかったです。かた手で持って、もう一つの手でいねを

植えていくのはむずかしかったし、ずっとこしをまげていたのでこしがいたくなりました。一列になっていっせいにやっていくのもおくれないようにするのが大変でした。だけど、お友達のお父さんがおもしろいことをしていたのであつという間に時間がすぎていました。いつも田植えをやっている人はすごいなと思いました。私は、ごはんが大好きなのでおいしいお米になるのが楽しみです。田んぼから出る時、足にどろがたくさんついていて、くつ下が重くなってなかなかりくにあがれませんでした。足がよごれたままりくにあがったら、すぐくへんなかんじがしました。どろがかたまったら動きやすくなりました。虫はきらいだけど、また田植えをやれるきかいがあったらもっと上手にに植えられるようにがんばりたいです。今度はお手本になれるといいなと思いました。終わった後にもらったジュースはとてもおいしかったです。



## ⑭ 大変だった田植え体験

寺脇町子ども会 6年 足立 桜穂

私は、初めて田植え体験をしました。田んぼには、ヒルみたいな生き物や、いろいろな虫がいて、少しこわかったです。田んぼの中は、どろが冷たくて、気持ち悪く、どろに足がとられて、転びそうになりました。田植えの時には二回くらい転び、ひざまでどろがついてしまいました。田植えは、田んぼに横一列に並んで植えていきました。みんなに合わせて植えていくのが大変でした。実際に田植えを始めると一回にどれぐらい植えればいいのか、なかなかコツがつかめず難しかったです。となりにいたお友達に聞いたりしながらやっていきました。田植

えは時間がかかり、植える時に、ずっとこしを曲げていたので、こしが痛くなりました。だんだん足が冷えてきてトイレにも行きたくなくなってしまいました。どろがついたまま田んぼから出ると、すごく変な感じがしました。でも、どろの足あとが道路について、おもしろかったです。田植えが終わった後も、足にどろがついていたので冷たさが残っていました。足を水で洗うと、水がとても温かく感じました。田植え体験をやってみて、大変で難しくすごくつかれたけど、お友達と一緒に体験できて、楽しかったです。毎日作業をしている農家さんは、本当にすごいなと思いました。そして、お米を育てるって、大変な事なんだと実感しました。大変だけどお米を作ってくれる人がいないと、お米が食べられないので、私は、ご飯を食べる時に、感謝をしながら大切に食べたいと思います。私は、次にやる機会があれば、転ばないように気を付けながら、またやってみたいと思いました。

⑮ 味噌作り体験をした

砂山町子ども会 5年 水野 翔太

「ガッタン。」

ぼくは、大豆と米麴と塩を手で丸めようとして、思わず力を入れ過ぎて、机を倒してしまいました。

十月二十九日砂山町公会堂で手作り味噌講座を子供会の友達や親と受けました。まずは、米麴と食塩を大きなボールに手で直接かき混ぜる作業からやりました。にぎるようにもりあげて回します。

米麴にはカビがついているそうです。本来カビは植物、食物、衣服などの表面に寄生する菌類なのですが、米麴につくカビは、良い物です。ぼくとしては、この二つをあわせるとうまい棒の納豆味の匂いがするな、と思いました。次に煮た大豆を潰す作業をやりました。大豆は静岡県岡部のフクユタカを使いました。潰した大豆を初めに混

せておいた、米麴を合わせます。そして、手で丸めて、容器の中に、打ち付けるようにして投げ入れました。理由は、空気を味噌の中に入れないためです。空気が入ると、カビが生えてしまうからです。最後に塩を表面に塩を振り掛けて、作業は終わりました。食べられるのは、六〜十二か月熟成してからです。

机を倒してしまっただけで、味噌は不幸中の幸いで、こぼれずに作れました。ぼくは、味噌作り体験をとおして、手間はかかるけど手作りで作るのは、とても面白いなあと思いました。自分の味噌を使って、味噌汁を飲めるのは、六年生になってからです。今からとても待ち遠しいです。



# 募集中

子ども会体験作文の募集中です。

〒431-0211

浜松市西区舞阪町舞阪 2668-349

舞阪保健センター内

浜松市子ども会連合会事務局

Tel&fax 053-596-2878